

番号	和文標題	発行年	著者名	掲載誌等
1	植物プランクトン定量方法の検討(1)	1997(H9)	福島博, 小林艶子(藻類研), 吉武佐紀子(湘南短大)	日本水処理生物学会誌
2	ダム湖における底生動物の生息状況とその特徴に関する研究	1999(H11)	千田庸哉(建設技術研), 安田実, 仲川博雄(建設省 関東地方建設局), 熊谷清(水資源開発公団)	土木学会年次学術講演会講演概要集 第1部
3	ダム湖植物プランクトン個体数について	2000(H12)	福島博, 小林艶子(藻類研)	日本水処理生物学会誌 別巻
4	ダム湖と利用するホシハジロの個体数と浅水域面積	2007(H19)	森貴久・川西誠一・Sodhi, N.S.・山岸哲	応用生態工学会 10: 185-190
5	耳石Sr/Ca比による広島県芦田川水系における陸封アユの確認	2007(H19)	海野徹也(広島大生圏), 柴智久(広島大生圏), 検崎仁美(国際航業), 柴田恭宏(広島大技術セ), 長澤和也(広島大生圏)	J.Grad.Sch.Biosp.Sci.Hirosima Univ., 46:35-42
6	Modelling the effects of dams on freshwater fish distributions in Hokkaido, Japan	2007(H19)	Fukushima, M., Kameyama, S., Kanako, M. Nkao, K. and Steel	Freshwater Biology 52: 1511-1524
7	How do dams affect freshwater fish distributions in Japan	2007(H19)	Han, M., Fukushima, M., Kameyama, S. Fukushima, T. and Matsushita	Ecological Research 23: 735-743
8	Species richness of exotic and endangered fishes in Japan's reservoirs	2008(H20)	Mideok Han, Michio Fukushima, Takehiko Fukushima	Environ Biol Fish 83:409-416
9	魚類群集からみた特徴	2008(H20)	森下郁子(淡水生物研究所)	『水源生態研究会10周年報告書』, pp141-146.水源生態研究会
10	底生動物からみた特徴	2008(H20)	森下郁子(淡水生物研究所)	『水源生態研究会10周年報告書』, pp147-152.水源生態研究会
11	山岸哲(2008)カモ科群集からみた特徴	2008(H20)	山岸哲(山階鳥類研究所)	『水源生態研究会10周年報告書』, pp131-140.水源生態研究会
12	分類学と応用生態工学	2008(H20)	谷田一三(大阪府大 大学院理学系研究科)	タクサ
13	河川水辺の国勢調査・ダム湖版の活用について	2008(H20)	村上正志(北海道大)	『水源生態研究会10周年報告書』, pp45-50.水源生態研究会
14	A spatical linkage between dams and non-native fish species in Hokkaido, Japan	2008(H20)	Han, M. et al	Ecology of Freshwater 17: 416-624.
15	ダム貯水池におけるプランクトンの出現特性: 評価のための課題	2008(H20)	高村典子・中川恵・一柳英隆	『水源生態研究会10周年報告書』, pp153-166.水源生態研究会
16	Effect of damming on distribution of rainbow trout in Hokkaido, Japan	2009(H21)	Mideok Han, Michio Fukushima, Takehiko Fukushima	Environ Biol Fish 84:175-181
17	ダムの分断による淡水魚類の多様性低下	2010(H22)	福島路生(国立環境研)	『ダム湖・ダム河川の生態系と管理』(谷田一三・村上哲生編), pp.175-194. 名古屋大学出版会
18	ダム湖のプランクトン群集の特徴	2011(H23)	高村典子・中川恵・一柳英隆・辻彰洋	『ダムと環境の科学Ⅱ ダム湖生態系と流域環境保全』(大森浩二・一柳英隆編)pp.107-130. 京都大学学術出版会
19	日本のダム湖における植物プランクトン・動物プランクトン・魚類の関係	2011(H23)	一柳英隆・大森浩二	『ダムと環境の科学Ⅱ ダム湖生態系と流域環境保全』(大森浩二・一柳英隆編)pp.194-198. 京都大学学術出版会
20	魚類相からみたダム湖の特性	2011(H23)	森下郁子(淡水生物研究所)	『ダムと環境の科学Ⅱ ダム湖生態系と流域環境保全』(大森浩二・一柳英隆編)pp.139-153. 京都大学学術出版会
21	近傍の2つのダム湖における生物生息状況の違いとピコプランクトン対策に向けた検討の可能性	2011(H23)	佐藤公俊・金山拓広・大杉奉功・岩見洋一(WEC)	『平成22年度ダム水源地環境技術研究所所報』, pp48-57
22	広島県大竹市小瀬川流域の昆虫類	1993(H5)	中村慎吾・野本正直・松田賢	比婆科学博物館研究報告第31号P119~P153
23	広瀬川流域の淡水魚	1994(H6)	小山均・秋葉保夫・高取知男	広瀬川流域の自然環境. 広瀬川流域の自然環境調査委員会. 仙台市. P505-574
24	魚のなかま	1994(H6)	高取知男	仙台市史特別編1 自然. 仙台市史編さん委員会. 仙台市. P225-230
25	広島県小瀬川および太田川流域の真正クモ類	1995(H7)	小川光昭	比婆科学博物館研究報告第33号P29~P42
26	広島県太田川の昆虫類	1996(H8)	中村慎吾・松田賢	比婆科学 第173号
27	広島県大竹市小瀬川の昆虫類(補遺)	1996(H8)	中村慎吾・松田賢	比婆科学 第173号
28	広島県大竹市小瀬川の昆虫類 1996年の調査結果	1998(H10)	中村慎吾・中島元康・浜口敬太	比婆科学博物館研究報告第36号P55~P142
29	江の川水系の昆虫類	1999(H11)	松田 賢, 中村 慎吾	比和科学博物館研究報告 第37号 P39-P176
30	広島県小瀬川及び芦田川流域の真正クモ類	1999(H11)	小川 光昭	比和科学博物館研究報告 第37号 P177-P196
31	太田川流域におけるナガレトビゲラ属幼虫の分布と環境要因との関わりについて	1999(H11)	西 昌宏	広島大学生物圏科学研究科修士論文
32	フジバカマ生育地の現状と保全	2000(H12)	服部保, 小館誓治(姫路工大 自然・環境科学研), 田村和也(里と水辺研)	ランドスケープ研究
33	広島県八田原ダム周辺の真正クモ類	2000(H12)	中村慎吾	比和科学博物館研究報告第39号-3
34	エリユスリカ亜科昆虫の分布と進化過程の関わりについて	2000(H12)	岡本芳明	広島大学生物圏科学研究科修士論文
35	汽水・淡水魚	2001(H13)	高取知男	宮城県希少な野生動物植物-宮城県レッドデータブック-. 宮城県. P176-189
36	広島県太田川の昆虫類, 1998~1999年の調査結果	2001(H13)	中村慎吾・梅森龍史	比婆科学 第199号
37	広島県におけるCricotopusユスリカの生態学的・遺伝学的研究	2003(H15)	岡本裕美	広島大学生物圏科学研究科修士論文
38	広島県小瀬川水辺の昆虫類 2001年の調査結果	2003(H15)	中村慎吾・梅森龍史	比婆科学 第207号
39	日野川水系産イワナ属の形態学的変異に関する研究	2003(H15)	堀端要仁	広島大学生物生産学部卒論
40	北の川の魚たちにとって住みやすい環境	2004(H16)	眞山 紘	土木学会水工学委員会・海岸工学委員会 2004年度(第40回)水工学に関する夏期研修会講義集Aコース, A-6-1~18
41	広島県小瀬川水辺の昆虫類 2001年の調査結果	2004(H16)	中村 慎吾, 梅森 龍史	比和科学 第207号 別刷
42	広島県八田原ダムの昆虫類 2000年の調査結果	2004(H16)	亀山 剛, 中西 秀治, 中村 慎吾	比和科学博物館研究報告 第43号 P133-P292
43	北川の総合研究 一激特事業対象区間を中心として一	2004(H16)	河川生態学術研究会北川研究グループ	不明
44	河川産ユスリカ類の種多様性と分布様式に関する研究	2005(H17)	井上 宮壮	広島大学生物圏科学研究科博士論文
45	太田川放水路の底生動物、特にユスリカと環境要因との関わりについて	2005(H17)	渡部 智明	広島大学生物生産学部卒論
46	ダム事業による生物・生態系への影響予測評価の高度化について	2005(H17)	天野 邦彦	河川713巻, pp18-23
47	天竜川サイレンス「7. 川が森になる」、「8. 河川数は外来植物の天国」、「9. 河原固有種の減少」	2006(H18)	土田 勝義	天竜川サイレンス p44-p59
48	広島県太田川の昆虫類 2003年の調査結果	2006(H18)	中村慎吾・亀山剛・西真弘	比婆科学博物館研究報告第47号P1~P184
49	ダム貯水池内で大量捕獲した特定外来魚の有効利用	2007(H19)	大杉奉功・山下洋太郎・柳川晃・浅見和弘	ダム技術 249: 63-70
50	特集 東北地方の侵略的外来生物問題 一その被害と対策一 ダム湖における特定外来魚の生息状況と防除手法の検討	2008(H20)	浅見和弘・大杉奉功・五十嵐崇博・西田守一・矢沢賢一	日本生態学会東北地区会 会報 第68号: 25-31
51	「長野県南部地方におけるカワムツZacco temmincki の分布域拡大に関する研究」一 DNA解析による天竜川水系のカワムツのルーツの検証と胃の内容物における近縁種間の比較 一」	2009(H21)	大原 均	(財)長野県科学振興会 助成金 平成21年度 報告書
52	北川の総合研究 一河川環境の保全と再生のあり方一	2009(H21)	河川生態学術研究会北川研究グループ	不明
53	ダム湖に出現するプランクトンの動態	2010(H22)	高村典子	『ダム湖・ダム河川の生態系と管理』(谷田一三・村上哲生編), pp.77-103. 名古屋大学出版会
54	広島県安芸太田町温井ダムの昆虫類 2007年~2008年の調査結果	2010(H22)	中村 慎吾, 南 恭亮, 畔上 雅樹, 小林 達彦	比和科学 第234号 別刷
55	阿武隈川および荒川の植物相	2011(H23)	黒沢 高秀, 葛西 英明	阿武隈川流域の環境学 p53-p72
56	植物から見た阿武隈川の生物多様性の保全	2011(H23)	黒沢 高秀	阿武隈川流域の環境学 p179-p186
57	宇奈月ダム周辺の環境の変化について	2011(H23)	矢尾篤嗣・土肥和広	不明
58	【短報】天竜川河川敷におけるババマルドロンシの確認記録	2011(H23)	多比良嘉晃・株式会社環境アセスメントセンター 石川均	さやばね ニューシリーズ No.3
59	もうすぐカワムツが天竜川水系を制圧する?	2011(H23)	大原 均	伊那谷自然友の会報 第157号 p2-p7
60	広島県太田川の昆虫類 2007年の調査結果	2011(H23)	亀山剛・中村慎吾	比婆科学博物館研究報告P45~P203
61	河川の水文・水質および流域の特性に着目した底生動物群集の成立要因に関する考察	2011(H23)	田代 喬, 小川隆文, 辻本哲郎	応用生態工学会第15回研究 発表会, pp.65-68
62	Meteorology and species composition of vegetation, birds, and fishes before and after initial impoundment of the Miharu Dam reservoir, Japan (REVIEW)	2012(H24)	Kazuhiro Azami・Mariko Takemoto・Yasunori Ohsuka・Satoshi Yamagishi・Shigekazu Nakazawa	Landscape and Ecological Engineering Volume 8, Issue 1 (2012), pp. 81-105
63	河川堤防植生としての子ガヤ群落	2012(H24) 予定	服部保ほか	人と自然(予定)

※黄色の網掛けは、新たに追加した論文等を示す。